

— 研究実施のお知らせ —

研究課題名	放射線治療教育のための患者画像データの活用
研究の意義・目的	<p>近年の放射線治療では、患部に線量を集中させ、正常組織への線量を最小限にするために様々な工夫を行っています。例えば、放射線治療シミュレーションのためのCTの撮り方、患部の抽出の仕方、放射線の照射方向や放射線の強さ、患者さんの位置決めの仕方など、多岐に渡ります。そして、良い放射線治療を行うためには、医療スタッフはこれらの技術向上や知識を深めるための不断の教育体制が必要となります。この教育において、他施設の治療技術を学ぶことは、新しい知見を得るための絶好の機会となります。一方で、他の施設の協力しながら教育を進めるためには、教育用に患者情報がマスクされた臨床データがどうしても必要となります。国内の現状においては、そのような臨床データは公に整備されておりません。</p> <p>そこで、本研究では、駒込病院における臨床データから教育用データを選択して匿名化し、利用を希望する施設へ時限的に公開する体制を構築することを目的としています。</p>
研究の方法	駒込病院が経験した臨床データの内、教育に適した症例の画像や臨床データを匿名化し、希望施設へと配布いたします。希望施設は、特定のルールに従って治療計画を行い、結果をプレゼンテーション・資料・データ提供のいずれかで互いに報告し、評価します。
研究の期間	<ul style="list-style-type: none"> 研究対象の期間…2010年4月～2025年5月 研究実施期間…倫理審査委員会承認日～2032年3月まで
試料・情報の外部機関への提供	<p>(提供先の名称、提供なしであれば「なし」と記入)</p> <p>日本放射線腫瘍学会、日本医学物理士会、日本医学物理学会、日本放射線技術学会等で企画される講習会、セミナー、放射線治療を用いた臨床試験グループにおけるトレーニング</p>
個人情報保護の方法	患者データは匿名化され、高度なセキュリティ対策が施されたwebサービスを通じて、希望施設がダウンロードを可能ないようにいたします。患者の個人情報が施設外へ知らされることはありません。
結果の公開	研究結果の公表は、研究代表者が共同研究者と協議の上、研究代表者、共同研究者、または研究協力者が学会、講習会、セミナー等で発表を行います。その際、個人を識別できる情報は一切含まれません。 (具体的な学会発表・論文投稿の予定は未定)
試料・情報の管理責任者	<p>研究代表者：都立駒込病院 放射線診療科治療部 木藤 哲史</p> <p>当院の研究責任者：山梨大学医学部放射線治療学講座 根本 光</p>